



市議会だより

発行

各務原市議会

 岐阜県各務原市那加桜町1-69
 電話058-383-2001

編集

市議会だより編集委員会

かかみがはら



千人で奏でる吹奏楽の響き in 学びの森（3月22日）

3 月 定 例 会

正・副議長など決まる	2	各務原シビルミニマムとは	7
22年度予算	3	市政を問う 一般質問	
委員会審査	4	市職員の柔軟な発想と意識づくり	8
市政を問う 会派の代表質問		がん検診無料クーポン券配布	9
人にやさしい都市実現	6	読書を楽しむ取り組みは	10
22年度予算案と中山道鵜沼宿整備	6	審議結果	11
介護福祉施設の充実を	7	市民の声、議会素描	12



監査委員 吉岡健



副議長 浅野健司



議長 古田澄信

議長に古田澄信氏

副議長に浅野健司氏

監査委員に吉岡健氏

去る2月26日、神谷卓男議長、川瀬勝秀副議長から辞職願が提出され選挙を行った結果、古田澄信議員が議長に、浅野健司議員が副議長に当選しました。

最終日には、尾関光政議員が議会選出の監査委員を辞職したことにより、その後任に吉岡健議員を選任する議案が市長から提出され、全会一致で同意しました。



総務常任委員会

なお、議会運営委員、各常任委員は次のとおりです。

常任委員会

本市議会では4つの常任委員会を設置しており、議員は必ず一つの常任委員会に所属することになっています。

各常任委員会は、行政組織に基づき分担して、専門的に詳しく各種案件を審査します。



民生消防常任委員会

(◎委員長、○副委員長)
総務常任委員会

◎長縄博光、○岡部秀夫、横山富士雄、水野岳男、梅田利昭、尾関光政、今尾泰造

民生消防常任委員会

◎藤井国雄、○杉山元則、永治明子、吉岡健、三和由紀、川瀬勝秀

経済教育常任委員会

◎関浩司、○足立孝夫、高島貴美子、角弘二、神谷卓男、三丸文也



経済教育常任委員会

建設水道常任委員会

◎太田松次、○池戸一成、川嶋一生、波多野こうめ、浅野健司、中村幸二、古田澄信

議会運営委員会

議会運営、議会の会期、議長の諮問に関することなどを審査します。

◎三丸文也、○関浩司、横山富士雄、波多野こうめ、神谷卓男、藤井国雄、長縄博光



建設水道常任委員会

平成22年第1回各務原市議会定例会は、2月26日から3月24日までの27日間の会期で開催しました。

初日の2月26日には、正副議長の選挙と、任期(1年)満了による議会運営委員と各常任委員の選任並びに正副委員長との互選を行いました。



建設中の東海中央病院（写真奥）

22年度
一般会計予算

428億7000万円を可決

人にやさしい都市へ

第2次新総合計画スタート

今期定例会に市長から提出された議案は、22年度一般会計予算をはじめとする37案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり可決・同意しました。なお、最終日に市長から工事請負契約の締結など4案件が提出され、いずれも原案のとおり同意しました。

また、議員から6案件が提出され、政務調査費の交付に関する条例の一部改正など5案件を原案のとおり可決しました。

第1回定例会に市長から提出された議案は、

- ・22年度予算 7件
- ・21年度補正予算 5件
- ・人事の案件 4件
- ・条例の制定・改廃

指定管理者の指定	14件
市道路線の認定・廃止	2件
工事請負契約の締結・変更	6件
工事委託契約の締結	2件
の合計41案件です。	1件

の実現③これからの夢・安心を創造する基盤整備④中期財政計画と連動した堅実な財政運営の4点を重点に、未来を開拓する夢とたくましさを支える予算を編成しています。

一般会計の予算規模は対前年度当初比6・2%増の428億7000万円を計上しています。

また、22年度においてもプライマリーバランスは8年連続黒字となる健全財政を堅持しています。

22年度一般会計予算

予算編成方針

22年度当初予算は、「人にやさしい都市」に力強く向かうとともに、①第2次新総合計画の着実な実施②人にやさしい都市

9%減の196億6033万7千円を計上しています。

国庫支出金は、子ども手当の創設などにより、対前年度当初比23%増の61億3629万2千円を計上しています。

県支出金は、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業などの増により、対前年度当初比6・3%増の22億4167万3千円を計上しています。

市債は、臨時財政対策債の増により、対前年度当初比21%増の50億9170万円を計上しています。

繰入金金は、東海中央病院の改築助成事業などに基金で対応するため、対前年度当初比62・5%増の26億円を計上しています。

議員提出議案

政務調査費の交付に関する一部改正

議長に収支報告書を提出する際に、領収書などを併せて提出するよう定めるものです。

22年度の主な事業

東海中央病院改築事業

市民病院的役割を担う東海中央病院の施設・設備の老朽化などに伴う全面改築事業に対し助成する。

学校施設耐震化事業

小中学校校舎耐震補強工事を実施する。(尾崎小学校、川島中学校)

消費者行政推進事業

県の消費者行政活性化基金による補助を受けて、消費者相談の開催日を週3日から週4日に拡大する。

障がい者相談支援センター事業

障がいに関する専門的な相談ができる場所として、福祉の里に相談支援センター「どんぐり」を設置する。

鶴沼宿(脇本陣)コンサート・アート展事業

鶴沼宿エリアを文化イベントの東の拠点とするため、脇本陣を活用し、コンサートやアート展を行う。

委員会審査



総務常任委員会

公共施設整備基金条例の一部改正

▼質疑 公益的施設にも使えるように改正することだが、何に使うことを想定しているのか。

▽答 基金を東海中央病院の改築事業負担金の財源とするものである。

▼質疑 基金を取り崩して支払うのはなぜか。

▽答 22年度は10億円という巨額の支援を行うため、基金で対応しようとするものである。

22年度一般会計予算(所管分)

▼質疑 22年度の臨時財政対策債はいつ地方交付税で補てんされるのか。

今期定例会に、市長から提案された22年度一般会計予算をはじめとする29案件について、3月15日から18日の4日間、常任委員会で審査を行いました。

各常任委員会での主な質疑は次のとおりです。

▽答 23年度から地方交付税の算定基礎額に含まれる予定である。

▼質疑 一般職員と臨時・嘱託職員の人件費は、どのように変化するか。

▽答 前年度と比べて、一般会計で一般職員の人件費は3億878万8000円の減額となるが、臨時・嘱託職員の賃金は4800万円ほどの増額となる予定である。

▼質疑 公用車を5台購入予定とのことだが、買い替えの内容は。

▽答 17年間使用の車を2台、16年間使用の車を2台、9年間使用の車を1台買い替える。

そのうち、1台はハイブリッド車の購入を計画している。

▼質疑 消費者相談日を

増やすとのことだが、曜日と時間は。

▽答 新たに木曜日を増やし、午後1時から5時まで行う予定である。

民生消防
常任委員会

福祉の里条例の一部改正

▼質疑 相談支援センター「どんぐり」の職員の体制はどうなるのか。

▽答 専門の相談員が常駐するほか、福祉の里と兼務する職員が対応する予定である。

▼質疑 土日は開設されないが、利用者のニーズは。

▽答 年間85人程度の相談を予定している。

土日の相談は基本的に行わないが、状況をみて、今後の課題としたい。

22年度一般会計予算(所管分)

▼質疑 母子家庭自立支援給付金支給事業の支援の内容と対象者数は。

▽答 母子家庭の母親が、看護師などの資格を取得するため、2年以上養成機関で修学する場合に、生活費の負担軽減のために月14万1000円を支給するもので、今年度は18人を見込んでいます。

▼質疑 父子家庭への児童扶養手当の支給開始時期とその対象世帯数は。

▽答 8月から支給を始め、50世帯を予定している。

▼質疑 生活保護扶助費が10億2400万円計上されているが、何人の生

活保護を想定しているか。

▽答 居宅の住宅扶助は710人、入院患者は22人で予算計上している。



福祉の里「どんぐり」での相談

療費が前年度比で1億円増えたが、その対象者数は。

▽答 月当たりの診療予定者を重度障がいの方が4139人、精神障がいの方が397人と見込んでいる。

▼質疑 アルゼンチンアリの生態系を含めた調査の状況は。

▽答 すでにアルゼンチンアリ防除の環境省モデル事業がスタートしており、22年度に試験的な防除がされる予定である。



アルゼンチンアリ (小川尚文氏撮影)

(体長は約2.5mmで、茶褐色の小さなアリです)

経済教育 常任委員会

22年度一般会計予算(所管分)

▼質疑 中学生海外派遣に応募できる対象者は。

▼答 英語スピーチコンテスト成績優秀者、少年の主張発表会上位入賞者には推薦枠を設けている。

その他は公募により、合わせて30名で実施している。

▼質疑 各務野やさいプロジェクトの目指すものは何か。

▼答 各務原キムチの材料となる農産物を鵜沼各



実験農場での収穫（鵜沼各務原町）

務原町の実験農場で栽培しており、白菜などを実験栽培している。

ボランティアの協力により、市の目玉となるような新しい農産物の生産を目指している。

▼質疑 小口融資制度貸付金の20年度の実績は。

▼答 35件の融資実績で、総額1億3500万円である。

▼質疑 不登校に関する最近の状況は。

▼答 不登校は減ってはきているが、まだ全体で100名ぐらゐは学校の相談室、保健室やあすなろに通っており、完全には通常学級にいない状態である。

▼質疑 不登校になる原因は。

▼答 昔は、心身症などの原因が多かったが、最近では、面倒になり登校しない状況がそのまま続くケースが多くなってきている。

▼質疑 おがせ池のスイレン囲い拡張事業の成果はあったのか。



防護柵で保護されているスイレン（おがせ池）

▼答 スイレンは増えてきている。

池の北側の囲いの中で密集してきたので、防護柵を拡張したい。

建設水道

常任委員会

市道路線の廃止及び認定

▼質疑（仮称）各務原大橋の工事に伴う市道廃止に当たって、民家が道路に沿って数軒あるが影響はないのか。

▼答 地権者などの了解を得て市道を廃止し、必要な道路を残すものである。

22年度一般会計予算(所管分)

管分)

▼質疑 新規事業で行う道路点検で、今までと異なる点は何か。

▼答 これまでは職員が点検してきたが、新規事業は緊急雇用創出事業を利用して業務委託するものである。

主要幹線は月に3回、そのほかは月2回の点検を実施し、今まで以上にきめ細かな点検をしていく。

▼質疑 那加メインロード整備事業の内容は。

▼答 新境川的那加橋から、かえで通りまでの区間の電線地中化を計画し、新境川から順次東へ施工している。



那加メインロード整備（市民公園南側）

22年度は、消防本部辺りまでの電線地中化工事を施工し、市役所交差点までの道路改良を予定している。

▼質疑 市内全域の屋外広告物を調査し、許可を出していると思うが、その件数は。

▼答 全体調査に3年ほどかかったが、市内全域で広告物は5724件あり、そのすべてに通知している。

そのうち、2453件に対し許可を出し、是正などによる458件を合わせて計2911件の広告物を許可している。

22年度下水道事業特別会計予算

▼質疑 普及が拡大しているにもかかわらず、下水道使用料が前年度より減額になっている理由は。

▼答 節水型の機器や洗剤などが普及しており、一人当たりの使用水量が減少傾向にあることや、規模の大きい事業所の使用量を実績に基づき見積もったためである。

質問をした議員は次のとおりです。

政和クラブ 神谷卓男、民主クラブ 中村幸二、
市議会公明党 太田松次、日本共産党市議団 波多野こうめ



人にやさしい都市実現

スポーツ施設の拡充は

和
政
ク
ラ
ブ

▼問 22年度主要施策の目玉である「シビルミニマム」を一地方都市である本市が強く打ち出した真意は。

▼答 かつてわが国は一億総中流社会と呼ばれていたが、近年は戦後最大の経済不況の到来により、経済は急速に悪化し、低所得者層が急激に増加するなど所得格差が拡大した。

日本全体に閉塞感が漂い、明らかかなストレス社会となっており、本市は社会的に弱い立場の人々に光を当て、誰もが健康で文化的な最低限度の生活を営むことが保障されるシビルミニマムを掲げ、一つの都市として福祉の底上げを図り、「人にやさしい都市」の実現にまい進する。

▼問 行財政改革の新しい手法も含めた今後の取り組みは。

▼答 民主党政権下で行われた「事業仕分け」は一定の成果と課題もあったものと認識している。

本市はこれまで他市に先駆けてカイズン運動を展開するなど、コスト意識とスピード

感を持った市政運営に努めてきた。

今後は「第2次新行財政改革大綱」に基づき、抜本的な改革に知力を尽くし、持続可能な都市経営を確立していく。

▼問 第2次新総合計画の初期3力年の実施計画でスポーツ施設の拡充整備が全く欠落しているが。

▼答 生涯スポーツの振興や競技力向上支援、各種スポーツ施設の整備充実に努めていく。なお、巨額の費用が伴うものは当面研究段階とし、事業立ち上げは慎重に検討する。



施設使用申込受付（総合体育館）

22年度予算案と

中山道鵜沼宿整備事業

主
民
ク
ラ
ブ

▼問 22年度予算案の発表が県内トップの早い時期になされたが、その要因は。

▼答 徹底した予算査定を行った上で、国の制度など大変革があった場合でも対応できる「2段階での編成」を実施できる体制で臨んだことによるものである。

▼問 第2次新総合計画に基づく取り組みの目的は何か。

▼答 本市は長年にわたる行財政構造改革を実施し、県内トップの財政健全度を背景に、夢ある都市を旗印とし、全市民・企業・行政が独創的な施策を展開し、夢がわくような都市の実現を目指していく。

▼問 22年度予算案の特徴と重点施策は何か。

▼答 「人にやさしい都市」づくりを目指していく。

具体的には①第2次新総合計画の着実な実現。②（仮称）各務原大橋建設事業の推進。③中期財政計画と連動した堅実な財政運営の展開。④公共事業関係費の2割削減などである。

▼問 「人にやさしい都市」づくりの目的は。

▼答 シビルミニマム施策群を具現化し、市独自の社会保障制度を充実させ、社会福祉力を高めていくことである。

▼問 中山道鵜沼宿整備の中で水路の復元を行うが、歩行者や車両に対する安全対策は。

▼答 車の速度制限など、歩行者が安心して歩ける道づくりを計画している。

▼問 観光客のためのタクシーやバスなどの駐車場確保は。

▼答 地権者と調整中であり、22年度に整備していく。



中山道鵜沼宿

市政を問う 会派の代表質問

3月11日に各会派の代表質問を行いました。

※代表質問は、各会派の政策・主張に基づき市政に関して質問するもので、各会派で作成された原稿に基づき編集し、掲載しています。

介護福祉施設の充実を

市議会
会派
公明党

▼問 新総合計画「元氣な各務原市」のゴールを迎えての総括は。

▽答 10の都市戦略と156の施策や事業を推進し、達成率は136・83%の見込みである。

また、景気低迷期の中、徹底した行財政構造改革により、財政健全度は県下一を實現した。

▼問 第2次新総合計画「夢ある都市」のスタートの決意と抱負は。

▽答 戦後最大の不況下において、22年度から「未来への創造、夢ある都市」へたくましく行動していく。

また、プライマリ・バランスの黒字、財政健全化を堅持し、6つの都市戦略と121の施策を積極的に展開する。

▼問 介護施設待機者の数と待機者解消の施策は。

▽答 特別養護老人ホームの入所待機者は、2月末現在931名いるが、一刻の猶予もない場合は優先入所制度がある。

第4期高齢者総合プランに

基づき、計画的に施設整備を進めていく。

22年度は地域密着型小規模特別養護老人ホームを29床、有料老人ホームを50床整備予定である。23年度はケアハウス50床を整備する予定である。



第4期高齢者総合プラン

▼問 要介護認定調査に要する期間と、時間短縮の取り組みは。

▽答 原則として30日以内に認定している。認定の効力は申請日にさかのぼり、介護サービスは暫定的に利用できる。

家族やケアマネージャー、主治医と連携を取り、迅速に認定できるよう努めている。

各務原シビルミニマムとは

日本共産党
市議会

▼問 国民の暮らしは底なしの悪化が続けている。

22年度の個人市民税は、対前年度比12%減と大幅な減収を見込んでいる。

一方、生活保護費は5割増となっていることから22年度の市民生活は21年度以上に厳しいものであることは間違いないが、市長はどのようにとらえているのか。

▽答 市民生活は極めて厳しい状況にあると認識している。

▼問 市長は「シビルミニマム」として、生活困窮者へ修学旅行や課外活動費の助成対象を高校生までに拡大するほか、学童保育を夏休みだけ4年生も対象にしたり、妊婦健診の実費無料化など161の事業を打ち出している。

これまで自公政治のもと社会保障費が毎年削られ、社会保障はすたすたになっており、その傷跡の手当てが必要だが、その手当てはどう考えているのか。

▽答 「シビルミニマム」を着実に実施していくことによ

り、誰もが安心していつまでも暮らすことが出来る「人にやさしい都市」を実現する。

▼問 学校施設耐震化事業は、これまで各務原方式で行ってきたが、文部科学省の基準に合わず、2回目の補強工事が必要となっており、二重投資ではないか。

市独自の各務原方式で大丈夫とした根拠は何だったのか。

▽答 各務原方式の緊急補強は命を守る緊急の対応として、本格的な耐震補強工事を行うまでの間、地震の際に死者を出さない、倒壊を防ぐという基準で実施してきた。

文部科学省の基準である1S値0.7以上への補強は、各務原方式で施工したものに追加して耐震化するものであり、二重投資ではない。

▼問 中学校の吹奏楽部に連続して支援を行うのではなく、その他の部活動にも公平に支援をすべきで見直すべきでは。

▽答 各務原スポーツ推進事業も行っている。

市政を問う 一般質問

3月11日、12日の2日間、市政に対する一般質問を行いました。
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)

池戸一成、杉山元則、三丸文也、水野岳男、今尾泰造、角弘二、
高島貴美子、横山富士雄、三和由紀、永治明子

市職員の柔軟な発想と ムダを省く意識づくりは

▼問 職員は柔軟な発想を持ち、業務のムダを省いていかなければならないと考えるが、市の対応は。

▼答 職員一人一人が、カイゼン運動に取り組み、業務をより効率的に行うことにより、コスト意識を持たせている。

▼問 具体的な取り組みは何を行っているのか。

▼答 全組織でISO9001:14001を同時取得し、社会人経験のある職員を採用している。同時に、公共事業のコスト縮減、民間広告掲載による広告料収入など、経費削減と収入増加の両面での取り組みを行っている。

▼問 職員からのカイゼン提案の受け入れ状況は。

いる。

▼問 職員からのカイゼン提案の受け入れ状況は。

▼答 9年度からの職員提案制度に加え、15年度から職場で実施したカイゼンへのほう賞制度を導入しており、20年度までの6年間で600件を超えるカイゼンを実施した。



担当課を案内するライン（本庁1階）

▼問 臨時・嘱託職員に能力給を採用しては。

▼答 資格を有する職務である保健師、看護師、保育士は、すでに経験年数に応じた賃金体系にしている。

その他の職務についても、その内容、勤務実績に基づいた賃金体系を検討していきたい。

自治会 振興交付金

▼問 地域の問題に対処していく自治会の役割は非常に重要になっている。行政の補助事務もやっているが、自治とのバランスは。

▼答 自治会の主体的な

活動を尊重しながらも、広報紙配布、ごみステーションの管理などの行政の補助事務にはその対価として、手数料や協力金を交付しては。

自治との整合性は図られており、今後も地域力の向上のため、一層の連携を図っていきたい。

▼問 自治会振興交付金の今後の取り扱い。

▼答 交付金制度は11年度から実施しており、各自治会で緑と花の地域づくり活動などの諸活動に利用されている。

20年度からは、交付金の一部を自治会地域社会活動事業補助金に充てており、今後もより主体的な活動に取り組んでいる自治会に対して補助していきたい。

防犯対策

▼問 市内犯罪の現状は。



自転車盗難防止啓発(市役所前駅駐輪場)

▼答 犯罪認知件数は16年以降減少しているが、自転車の盗難が増加するなど犯罪情勢は予断を許さないものと認識している。

▼問 防犯対策として何に取り組んでいるのか。

▼答 警察や関係機関との連携による防犯イベント、広報やウェブサイトによる防犯情報提供や啓発などのほか、市民の自主的な防犯活動を支援し、安全で住みよい社会の実現に努めている。

▼問 自転車の盗難に対する防犯対策は。

▼答 今後も警察や関係機関と連携し、駅周辺駐輪場など、盗難防止啓発などを実施していく。

子宮頸がん・乳がん検診 無料クーポン券配布の効果は

▼問 子宮頸がんや乳がん検診の無料クーポンを配布したが、その受診状況は。

▼答 受診期間の3カ月延長や検診の啓発に努めた結果、21年度の乳がん検診受診者数は2287人、子宮頸がん受診者数は2341人と20年度より増加した。

無料クーポンの配布で、がん検診の受診促進に大きな効果があった。

▼問 無料クーポン配布は単年度事業だが、22年度も継続するのか。

▼答 20年度の受診人数と比較して、乳がん検診では1.7倍、子宮頸がん検診では2倍に増加し、受診の向上が図れたことから、22年度も継続して実施する。

▼問 子宮頸がん予防ワクチンの接種を公費で補助できないか。

▼答 現在、ワクチンで

予防できる子宮頸がんは全体の6割ともいわれており、ワクチンも発売されたばかりであるため、長期にわたる効果は未確定な部分がある。国では、公費の助成をできるだけ早期に実現するように検討しており、国の動向を見ながら対応していく。

住宅用 火災警報器

▼問 住宅用の火災警報器の設置が消防法の改正により義務付けられたが、22年度設置に当たって、助成対象となる世帯は。

▼答 今回の助成は災害時に避難支援が必要な世帯に整備を図るためのもので、災害時要援護者台帳に登録された市民税非



火災警報器啓発コーナー（本庁1階）

課税世帯が対象となる。

▼問 現在の災害時要援護者台帳の登録者数は。

▼答 22年2月現在、3680人の登録があるが、今後も窓口や民生委員を通じて登録の啓発をしていく。

▼問 助成事業の周知方法と実施時期は。

▼答 6月ごろから、広報紙やウェブサイトへの掲載、民生委員や自治会を通しての広報啓発に努めていく。

申請のあった対象世帯には11月をめどに設置する予定である。

▼問 今回の助成事業の対象外になる災害時要援護者世帯への火災警報器

の共同購入や、取り付けはどうするのか。

▼答 女性防火クラブで行う共同購入事業で購入していただきたいと考えている。

取り付けは、消防本部に相談があれば対応する。

▼問 新型インフルエンザ予防接種の状況と、無料接種券の申込状況はどうなっているのか。

▼答 22年1月末現在、市内医療機関での接種者は2万1276人で、全市民の14.2%である。

また、市民税非課税世帯の無料接種券申請者数は、22年2月末現在773人で、このうち優先接種対象者は741人であった。

企業内保育所の 開設支援

▼問 企業内の保育所開設に向けて、企業や就労者の要望や実態を把握し

ているのか。

▼答 後期子育て応援プランの策定に当たって実施した市民向けアンケートの結果やプラン策定委員会の中で、企業内で保育所を開くための支援への要望が多くあった。

今後、多くの企業が仕事と育児の両立に支援できるよう、理解と協力を得ながら実施していく。

▼問 複数の企業が共同で設置した保育所は助成の対象とするのか。

▼答 保育士の雇用など、一企業での設置が難しいことも考えられることから、複数の企業による設置も支援の対象としたい。



東海中央病院の院内保育所



図書館親子体験教室

国民読書年

読書を楽しむ取り組みは

出前図書館キャンペーンなどを実施

▼問 小学校での「朝の読書」や「読み聞かせ」などは着実に根付いているが、その他の読書に関する取り組みは。

▼答 言語力の向上に役立つ本を購入し、児童の読書率を高める「言語力の向上事業」を実施していく。

また、学校図書館管理システムの導入を進め、学校図書館の活性化を図っていく。

▼問 国民読書年に当たって、市民が多くの良書

に触れ、読書の楽しさを実感できる機会を増やしていく取り組みは。

▼答 中央図書館では資料の企画展示をはじめ、図書館親子体験教室などを行っている。

さらに「出前図書館キャンペーン」などを実施し、多くの本を読む機会をもってもらえるよう啓発に努めていく。

遊具の点検

▼問 市が管理する公園遊具の安全点検は行われているのか。

▼答 遊具点検専門の業者が2力月に1回定期保守点検を行い、市職員が毎月簡易な安全点検を行っている。

▼問 自治会に管理をお

願っている子ども広場の遊具の安全管理に対し、どのような指導や補助を行っているのか。

▼答 自治会の方が、日常の点検ができるように講習会などを行っている。

また、子ども広場補助金として遊具の設置、修繕に2分の1の補助を行っている。

(仮称)
各務原大橋

▼問 各務原大橋建設の全体計画と進み具合は。

▼答 取付道路である那加小網線は道路延長が2625m、幅員が16.5mで、そのうち橋は延長594m、幅員17.1mである。

16年度に概略設計を実施し、17年3月にルートを決定、19年度から取付道路工事に着手しており、24年度末には全線完成の予定である。

思春期外来
の開設を

▼問 小中学校での心と身体の悩み相談の実態は。

▼答 各中学校区に県費



各務原大橋橋脚工事現場

▼問 建設費が当初の計画から増加している理由は。

▼答 当初の概略設計では90億円を算定した。

その後、現地調査を行い、予備設計、詳細設計と進める中で、国土交通省など関係機関と協議を重ねた結果、約136億円となったものである。

でスクールカウンセラーやスクール相談員が配置されている。

また、市費で心の教室相談員を配置し、月水金曜日の午後から臨床心理士によるカウンセリングを実施している。

相談内容は、学校内の人間関係や自分の思いを周囲に伝えられないなど、思春期特有の悩み相談が多くを占めている。

▼問 思春期外来の開設を市内医療機関に求めているのか。

▼答 不登校や引きこもりなどは、東海中央病院の心療内科で対応している。22年度からは東海中央病院と連携し、発達障がい、子育て、メンタルヘルスに関する相談や講習会などを行う「子育て・教育相談センター」を開設する予定であり、思春期の心の相談などにも幅広く対応できるよう検討していく。

思春期外来の開設は、必要性を踏まえ、東海中央病院に要望していく。

審議結果（3月定例会）

○21年度一般会計補正予算（第5号）	原案可決・全会一致
○21年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決・全会一致
○21年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決・全会一致
○21年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決・全会一致
○21年度水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決・全会一致
○22年度一般会計予算	原案可決・賛成多数
○22年度国民健康保険事業特別会計予算	原案可決・賛成多数
○22年度老人保健特別会計予算	原案可決・全会一致
○22年度介護保険事業特別会計予算	原案可決・全会一致
○22年度後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決・賛成多数
○22年度下水道事業特別会計予算	原案可決・全会一致
○22年度水道事業会計予算	原案可決・全会一致
○公共施設整備基金条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
○川島地区振興基金条例を廃止する条例	原案可決・全会一致
○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○公共駐車場条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
○福祉の里条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○学童保育室条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
○市の良好な環境の保全及び創出に関する基本条例	原案可決・賛成多数
○消防本部及び消防署設置条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
○手数料条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○市民農園設置条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○岐阜中流用水使用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○公の施設の指定管理者の指定（鵜沼南町会館）	原案可決・全会一致
○公の施設の指定管理者の指定（福祉の里 どんぐり）	原案可決・全会一致
○市道路線の認定（市道鵜 1327 号線ほか 1 路線）	原案可決・全会一致
○市道路線の認定（市道鵜 1328 号線）	原案可決・全会一致
○市道路線の廃止及び認定（市道稲 676 号線）	原案可決・全会一致
○市道路線の廃止及び認定（市道稲 820 号線）	原案可決・全会一致
○市道路線の廃止及び認定（市道那 1108 号線ほか 1 路線）	原案可決・全会一致
○市道路線の廃止（市道鵜 323 号線）	原案可決・全会一致
○教育委員会委員の任命（神谷眞弓子氏）	原案同意・全会一致
○監査委員の選任（松尾裕氏）	原案同意・全会一致
○公平委員会委員の選任（平塚正之氏）	原案同意・賛成多数
○監査委員の選任（吉岡健氏）	原案同意・全会一致
○工事請負契約の締結（（仮称）蘇原コミュニティセンター建設工事（建築））	原案同意・全会一致
○工事請負契約の変更（（仮称）各務原大橋下部工工事（その2））	原案同意・全会一致
○工事委託契約の締結（22年度木曽川各務原大橋下部工事）	原案同意・全会一致
○議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた 取り組みを求める意見書	原案可決・全会一致
○新丸山ダムの建設推進を求める意見書	原案可決・賛成多数
○定住外国人への地方参政権付与に反対する意見書	原案可決・賛成多数
○選択的夫婦別姓制度の導入に反対する意見書	原案可決・賛成多数
○国民健康保険への国庫負担の引き上げを求める意見書	原案否決・賛成少数

『ふれあいの場、仲間づくり』

各務原市那加地区に住んでいます。

昨年の夏ごろに、総合型地域スポーツクラブ「Club Puff(クラブ パフ)」を知りました。

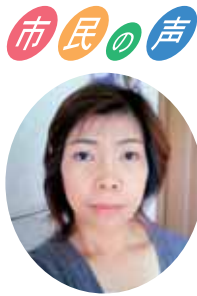
子どもが学校でもらってきたパンフレットがきっかけです。

金曜日と土曜日に活動を行っており、バレーボール・卓球・バドミントンなど、「軽く楽しくスポーツをしよう!」という感じで、とても楽しく無理なく活動に参加しています。

私も仕事を持ちながら子育てをしており、体を動かしたいけど時間がとれない毎日であり、子どもと一緒に楽しむことが少なくなったと感じていたところでした。

子どもが、このスポーツクラブに興味を持ったこともあり、一緒に参加してみました。

子どもは広い体育館に喜び、走り回り、色々なボールやラケットに触れたりして遊び始め、私も一緒にバスケのシュートを競い合ったり、卓球も必死に打とうと頑張ったり・・・。



那加織田町
渡辺 智美さん

子どもとスポーツを通じて夢中になって楽しめる喜び、私自身も体が動かせるときかけができ、とても嬉しく感じています。

最近、家の中でゲームなどに夢中で、あまり外で遊ぶことが少なくなってきたこともあり、体を動かす楽しさを教えるためのいいきっかけが出来たと思っています。

自由に、自分なりに1日100円の参加費のみ

で参加ができて、色々な体験ができ、このスポーツクラブは本当にいい、私たちが親子の心地よい汗を流せるスポーツの場となっています。

今まで面識のない家族との新たな交流も芽生え、家族単位・子ども単位にて新しいふれ合いも楽しみにしています。

また、一緒にスポーツをするにより、家では見られない子どもの新しい発見や、相手を思いやる気持ち等も自然に身に付けることができ、とても良い交流の場と感じています。

これからも、親子の交流の場としてクラブに参加していこうと思っています。

また、各務原市内にこういう場がもっと増えてくるといいと思います。

幸せの価値観が「モノ」や「カネ」に集中した時代から、「ふれあい」や「生きがい」に変わってくることを願います。

ご覧になりましたか、議会中継

本会議の様子をインターネット中継
(ライブ・録画)しています

市ウェブサイト「市議会」からアクセスを

<http://kakamigahara.gijiroku.com/video/>

次の定例会は、6月7日開会予定です



議会素描

▼第2次新総合計画スタートの予算審議。歴史に学び「人」を大切に明るい未来へ向け飛躍しなくてはならない。

▼桜開花を目の前にして開催された3月議会。

予算審議の中、話題の中心はやはり「第2次新総合計画」。

花咲くかシビルミニマム。▼新政権の目玉の一つ「子ども手当」が予算に盛り込まれた。

子育て世代の家計に好影響を及ぼすか。

▼議会のあり方が各地で問われている。

市政のチェック機能を果たすとともに、議員力向上にまい進したい。

* * *

市議会だより編集委員会

◎高島貴美子

○川嶋一生

水野岳男、池戸一成

杉山元則、梅田利昭

(◎委員長、○副委員長)